

# 検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2010年5月31日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.119】

## 松崎氏が革マル派最高幹部かどうかは警察活動の重要事項！

前号に続き、自民党・佐藤勉衆議院議員が提出した「革マル派によるJR総連及びJR東労組への浸透に関する質問主意書」に対する鳩山内閣の答弁書を検証する。

この答弁書は、質問の1~4項と6項とを一括答弁しているが、なお書き以降の「2の後段のお尋ね」とは、「松崎明氏は、現在も革マル派最高幹部であるとみてよいか」との質問を指す。これに対しては、「今後の警察活動に支障を及ぼすおそれがあることから、答弁は差し控えたい」と意味深長な答弁がされた。この答弁は、松崎氏が革マル派最高幹部であるかどうかは、今後の警察活動において重要な意味を持つことを示しているということだろう。警察にとって、この問題をいかに注目しているかがわかる。また質問の5項は、本情報が検証している鉄道福祉事業協会のS元理事長らによる業務上横領被疑事件のことだ。佐藤議員の質問主意書は松崎氏や横領事件にも言及しているが、JR革マル問題をさらに追及する意図があるものとみられる。本情報でも、今後、この点について検証を深めたい。

### 政府はJR総連・東労組への革マル派浸透を繰り返し答弁！

JR総連・東労組や松崎氏は、政府が繰り返し見解を示してきたJR総連・東労組への革マル派の浸透問題について、「警察の発表だから信用しない」などと一貫して否定してきた。「JR革マル問題」が本格的に顕在化した1999年以降、政府は繰り返しJR総連・東労組への革マル派活動家の浸透を明確に答弁してきた。これまでにこの問題が取り上げられたおもな国会質問および質問主意書の経過を紹介したい(【 】内は質問者名)。

2000年11月7日	参議院交通・情報通信委員会【山下八洲夫参議院議員】
2001年2月13日	衆議院予算委員会【西村真悟衆議院議員】
2001年2月27日	衆議院法務委員会【西村真悟衆議院議員】
2001年3月2日	衆議院予算委員会第3分科会【西村真悟衆議院議員】
2001年5月30日	衆議院国土交通委員会【日森文尋衆議院議員】
2001年6月7日	参議院国土交通委員会【山下八洲夫議員】
2001年10月5日	衆議院予算委員会【中井洽衆議院議員】
2001年10月19日	衆議院法務委員会【西村真悟衆議院議員】
2002年2月27日	衆議院法務委員会【西村真悟衆議院議員】
2002年3月20日	衆議院法務委員会【西村真悟衆議院議員】
2002年11月6日	衆議院内閣委員会【西村真悟衆議院議員】
2002年12月4日	衆議院国土交通委員会【玉置一弥衆議院議員】
2003年2月7日	「JR東労組の役員逮捕、家宅捜索及びJR東労組への革マル派浸透に関する質問主意書」【山下八洲夫参議院議員】(3月18日答弁書)
2003年7月16日	衆議院内閣委員会【西村真悟衆議院議員】
2003年7月23日	衆議院国土交通委員会【玉置一弥衆議院議員】
2006年4月28日	「JR総連・JR東労組などJR労組に浸透する革マル派の実態等に関する質問主意書」【山下八洲夫参議院議員】(5月12日答弁書)
2006年10月25日	衆議院国土交通委員会【伴野豊衆議院議員】
2006年10月25日	衆議院国土交通委員会【三日月大造衆議院議員】
2006年12月8日	「運輸安全マネジメントに関する質問主意書」【伴野豊衆議院議員】(12月19日答弁書)
2007年2月21日	衆議院国土交通委員会【伴野豊衆議院議員】